

# 夏秋野菜等の需要に応じた生産の推進について (令和5年度夏秋野菜等の需給ガイドライン)

令和4年11月

農林水産省農産局園芸作物課

# 野菜価格安定制度における計画生産・計画出荷の仕組み

- 需要に即した計画的な生産・出荷を推進するため、国は指定野菜について概ね5年ごとに需要及び供給の見通しを策定するとともに、年2回(冬春・夏秋)需給ガイドラインを策定。この需給ガイドラインを目安として、出荷団体等は、供給計画を作成し、計画に即した野菜の出荷に努める仕組み。
- 供給計画に即した出荷がなされるよう、指定野菜価格安定対策事業においては、供給計画と出荷実績との乖離度に応じて生産者補給交付金を減額する措置のほか、前年度の価格低落時における需給調整の取組実績等に応じて補填率に差を設ける措置を導入。

## 野菜価格安定対策事業における措置

### 需要及び供給の見通し(国)

(概ね5年ごとに策定)

指定野菜の種別ごとに、概ね5年後の需要量、供給量、国内産供給量の見通しを策定

### 需給ガイドライン(国)

(毎年、6月:冬春野菜、12月:夏秋野菜に策定)

直近の需給動向等を踏まえ、種別ごとに次期作の需要量、供給量、国内産供給量の見通し、作付面積の指標を策定

### 供給計画(出荷団体等)

需給ガイドラインを目安とし、種別ごとに年2回策定(播種・定植前の当初計画、出荷前の確定計画)

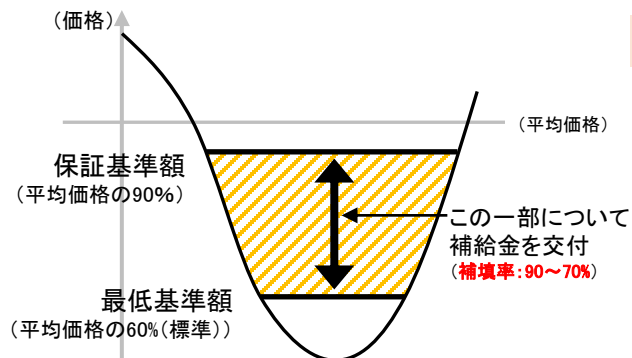
- ① 供給計画の作成を加入要件とする(契約野菜収入確保モデル事業を除く)
- ② 供給計画と出荷実績との乖離度に応じて交付金を減額

<供給計画と出荷実績の乖離度合い>



※ ±20%から±60%まで±10%間隔で乖離度合いを区分し、減額率は0~60%。

- ③ 過去3年の供給計画と出荷実績の乖離度や、緊急需給調整事業の取組実績等に応じて、生産者補給交付金の補填率を設定



### 補填率90%(産地区分I)となる場合

以下の①・②の両方を満たす出荷団体

- ① 次のa又はbに該当すること
  - a. 産地強化計画(加工・業務用推進タイプ)を策定
  - b. 産地強化計画を策定し、直近3か年の計画的出荷割合が基準を満たす\*
- ② 前年度において、対象品目の価格が緊急需給調整事業の発動価格以下となった際、対象品目の出荷があり、かつ、緊急需給調整事業を実施したこと

※ 直近3年の各年の計画的出荷割合 < 120/100、かつ、計画的出荷割合の直近3年平均 < 110/100

## 令和5年度 夏秋野菜等の需給ガイドライン(概要)

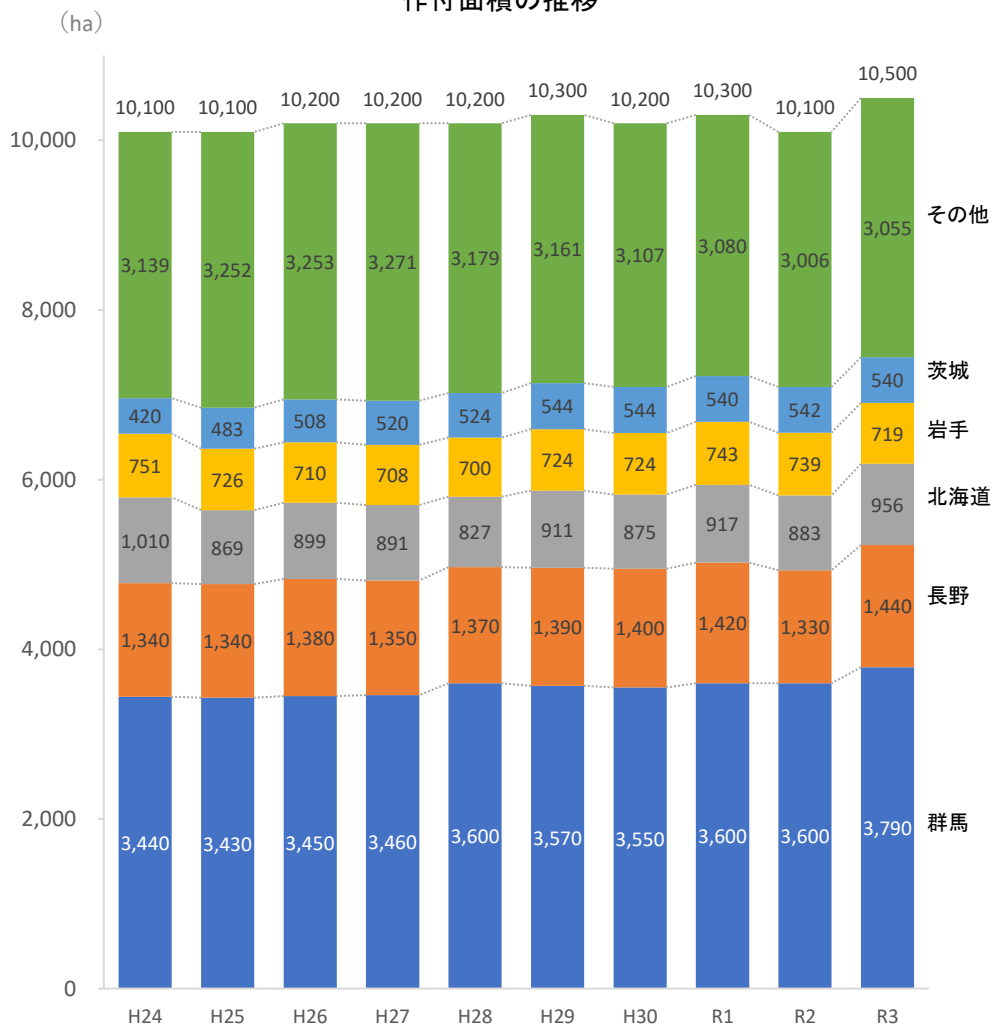
- 需給動向や人口、単収等のすう勢を基に、有識者の意見も踏まえつつ、指定野菜に係る「需給ガイドライン」を策定。
- 令和5年度夏秋野菜等の需給ガイドラインでは、近年、供給過剰気味であり、緊急需給調整事業も発動している夏秋キャベツ、夏はくさい、夏秋レタスなどについて、前年度ガイドラインよりも低い作付面積の指標を提示。

種別等	需要量(t)	供給量(t)	国内産供給量(t)	作付面積(ha)	
					R4年度 ガイドライン比
夏秋キャベツ	349,800	495,800	485,300	10,000	99.0%
夏秋きゅうり	238,100	261,200	252,500	7,380	96.9%
秋冬さといも	141,300	178,800	142,900	11,100	99.1%
夏だいこん	202,900	239,900	236,000	5,630	94.9%
夏秋トマト	250,200	300,000	295,200	7,230	97.8%
うち大玉	200,200	240,000	236,200	5,680	97.1%
うちミニ	50,000	60,000	59,000	1,550	100.6%
夏秋なす	152,100	176,100	175,200	7,280	94.9%
秋にんじん	243,400	267,000	202,000	5,250	97.2%
秋冬ねぎ	210,100	306,600	285,100	14,100	100.0%
夏はくさい	134,400	168,200	167,500	2,320	97.1%
夏秋ピーマン	64,800	80,300	65,400	2,230	101.8%
夏秋レタス	209,100	257,100	255,200	8,450	95.1%

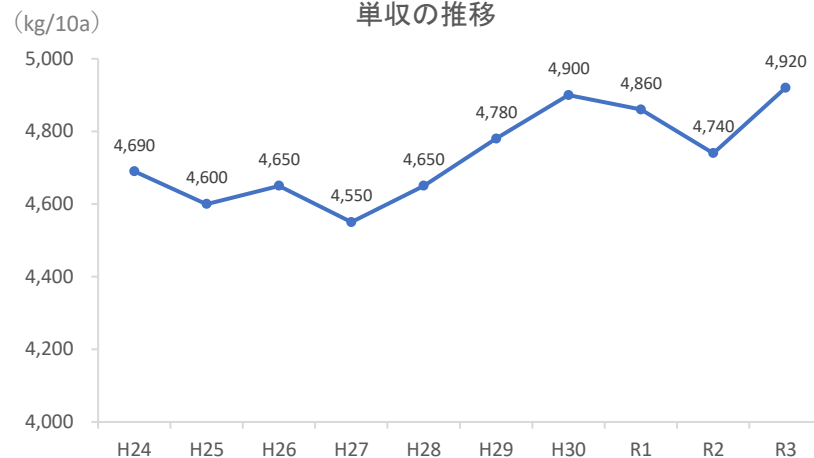
# 夏秋キャベツ(7~10月)の動向 ①

- 主産地を中心に作付面積は増加傾向にあり、単収の増加と相まって供給量は増加傾向。
- 令和2年は7月の長雨・日照不足等により出荷量が減少し、高値となったが、令和3年・4年は2年連続7月下旬から長期に渡って価格が低迷し、8~9月に大規模な緊急需給調整事業を発動している。

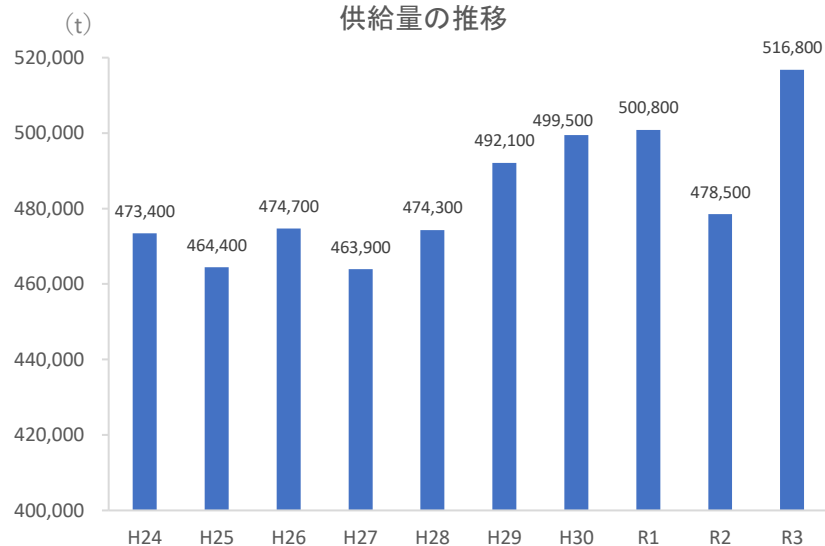
作付面積の推移



単収の推移



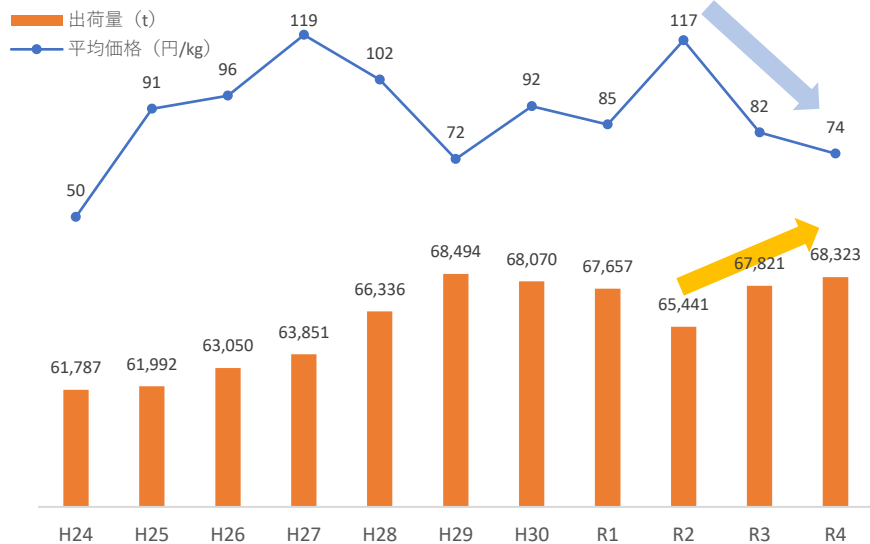
供給量の推移



出典:野菜生産出荷統計等

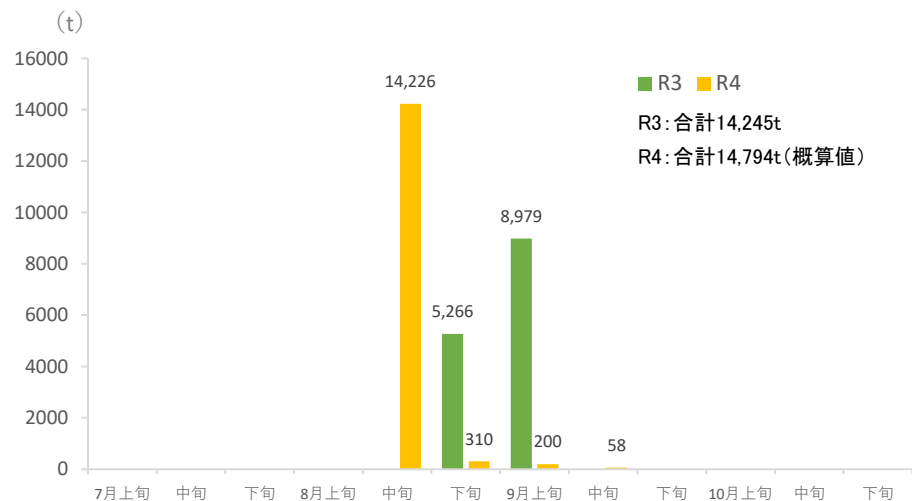
# 夏秋キャベツ(7~10月)の動向 ②

## 価格と出荷量の推移

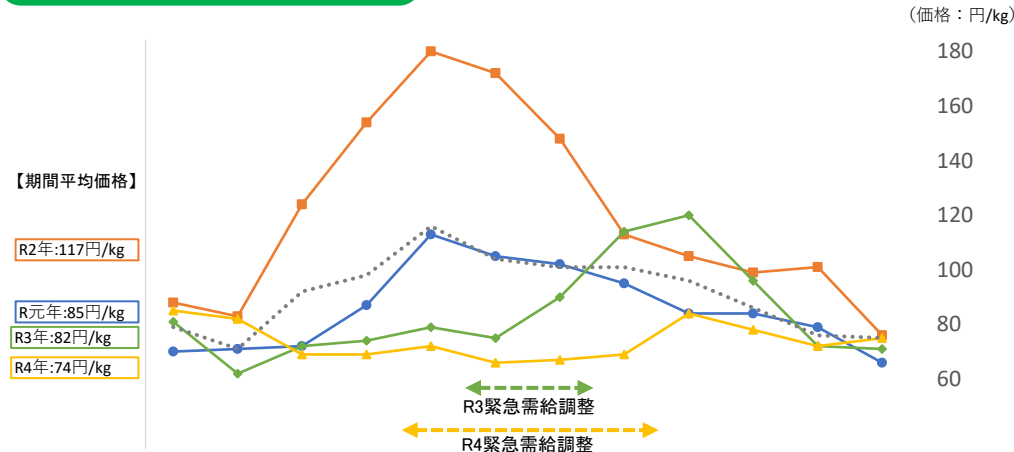


※東京都中央卸売市場(9市場)における出荷量・価格

## 緊急需給調整事業の実施状況



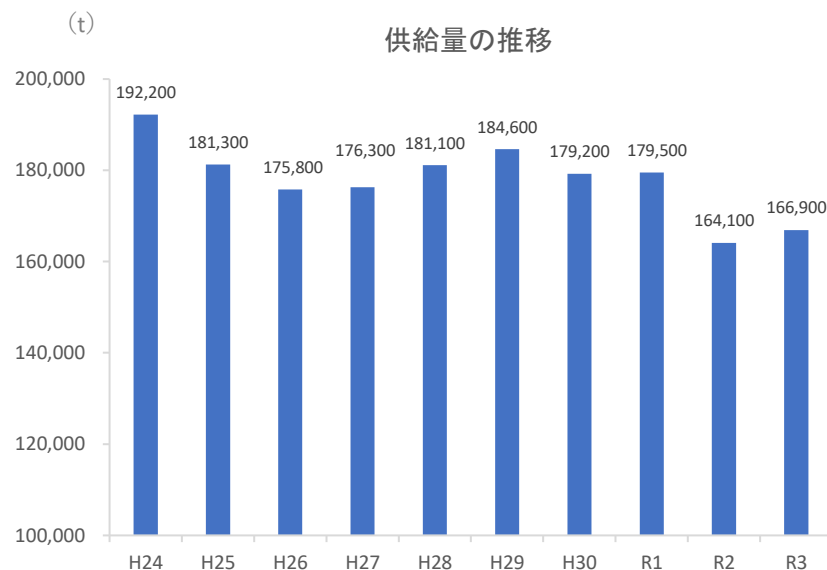
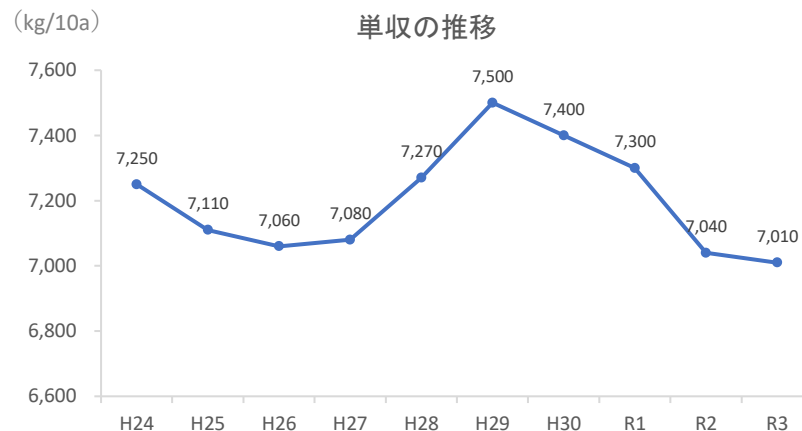
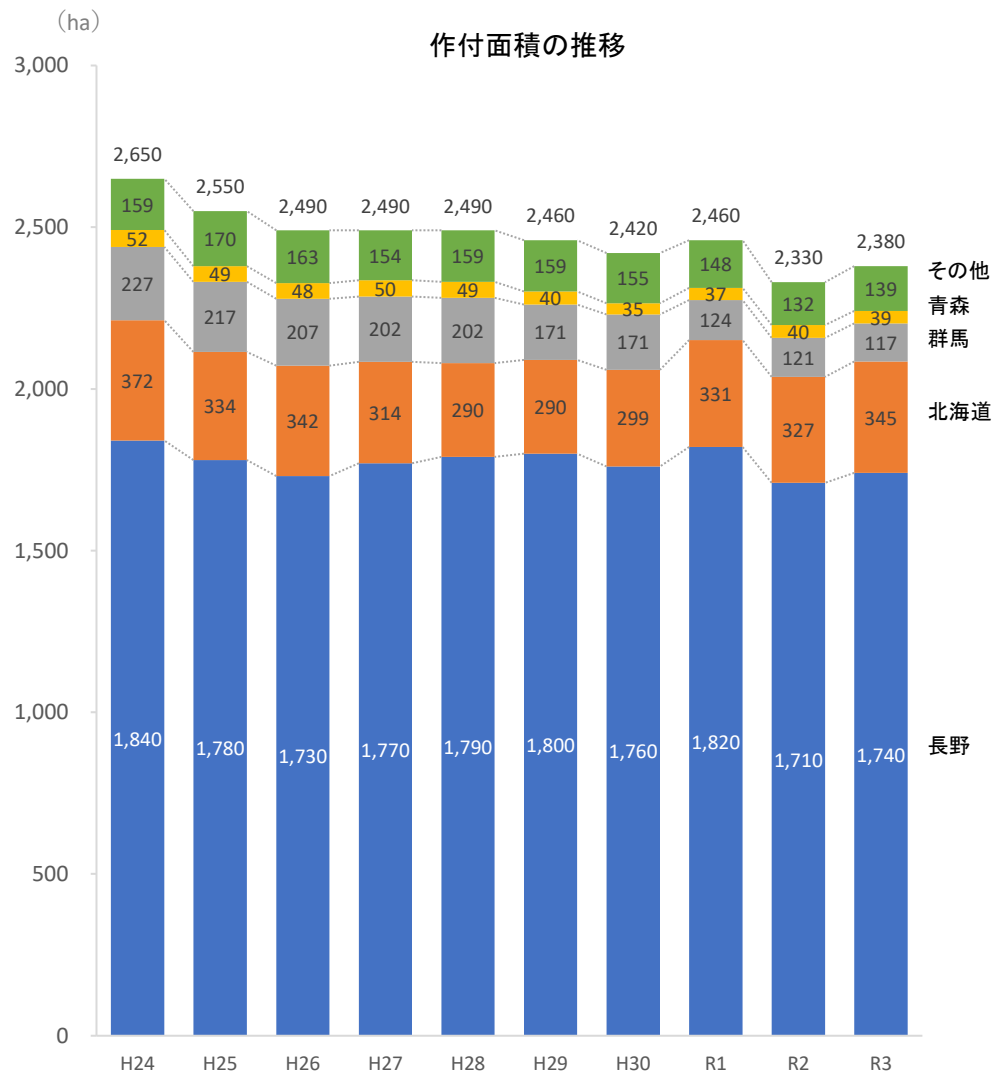
## 旬別の価格と出荷量の推移



※東京都中央卸売市場のうち4市場(築地、大田、豊島、淀橋)における出荷量・価格

# 夏はくさい(7~9月)の動向 ①

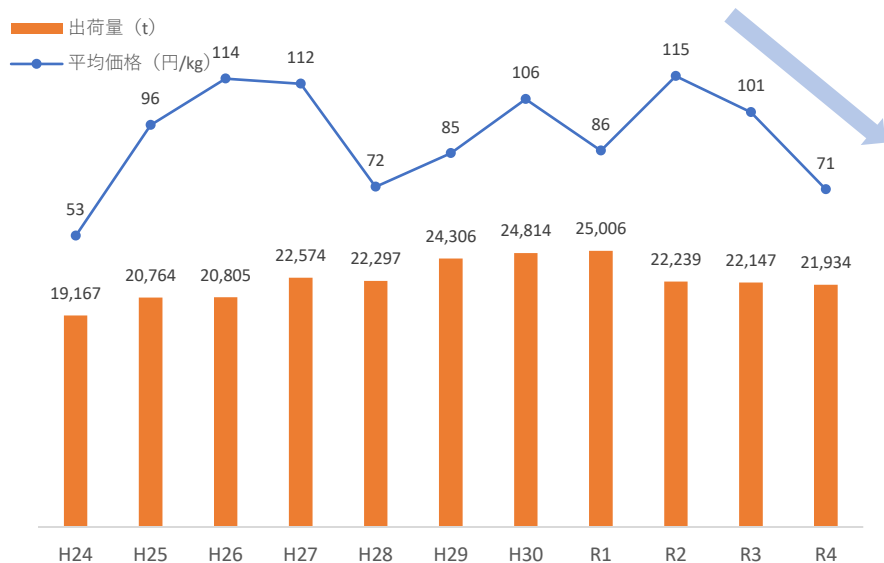
- 作付面積・供給量は減少傾向。
- 令和2年は7月の長雨・日照不足等による出荷量減少に加え、業務用需要の一時的増加もあり高値となったが、全般的には気温上昇とともに需要が低下する8月以降に価格が低落する傾向にあり、令和3・4年は緊急需給調整事業を発動。



出典:野菜生産出荷統計等

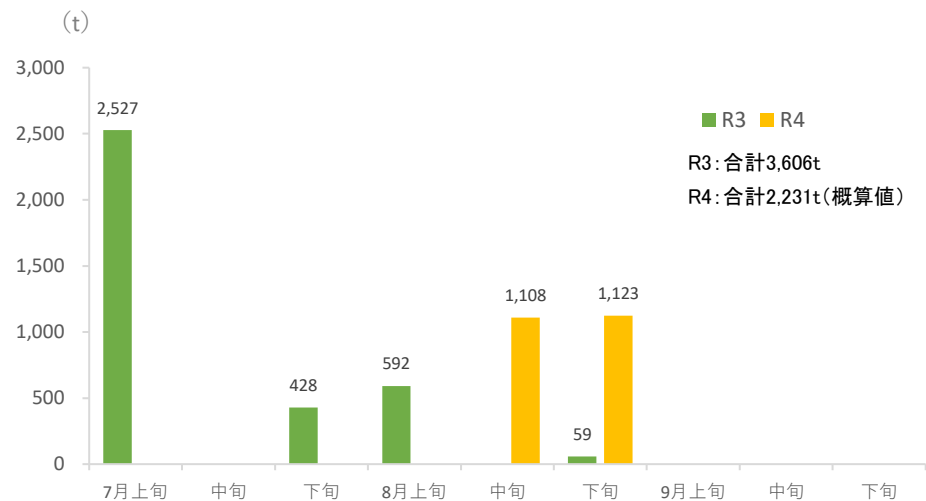
# 夏はくさい(7~9月)の動向 ②

## 価格と出荷量の推移

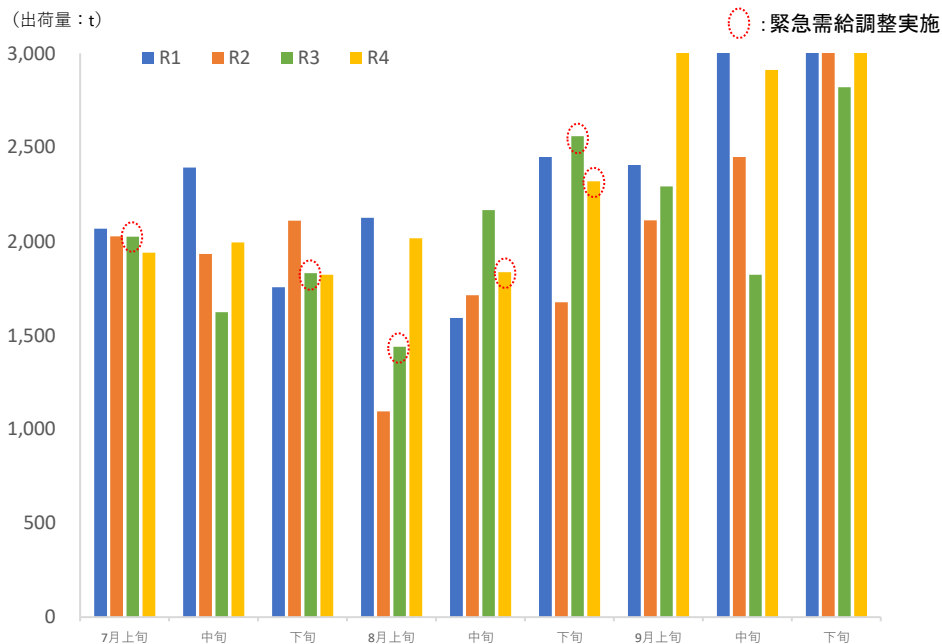
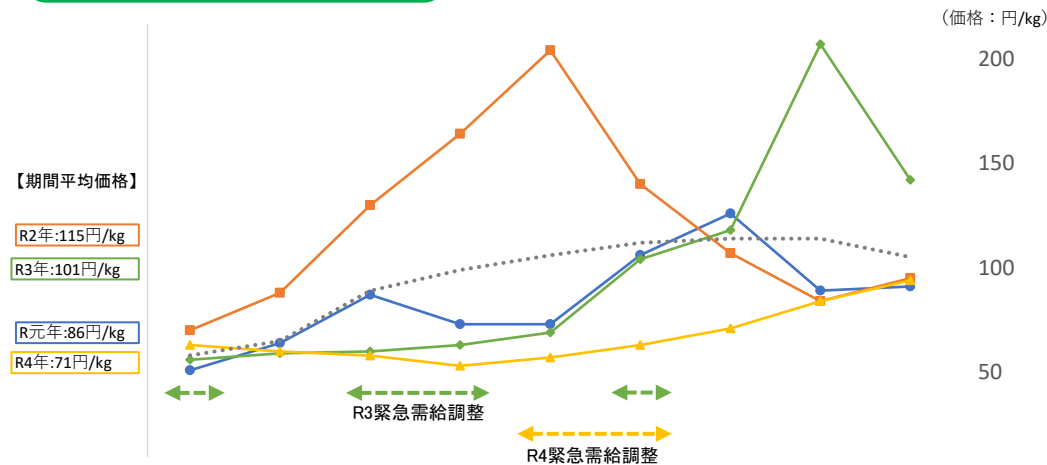


※東京都中央卸売市場(9市場)における出荷量・価格

## 緊急需給調整事業の実施状況



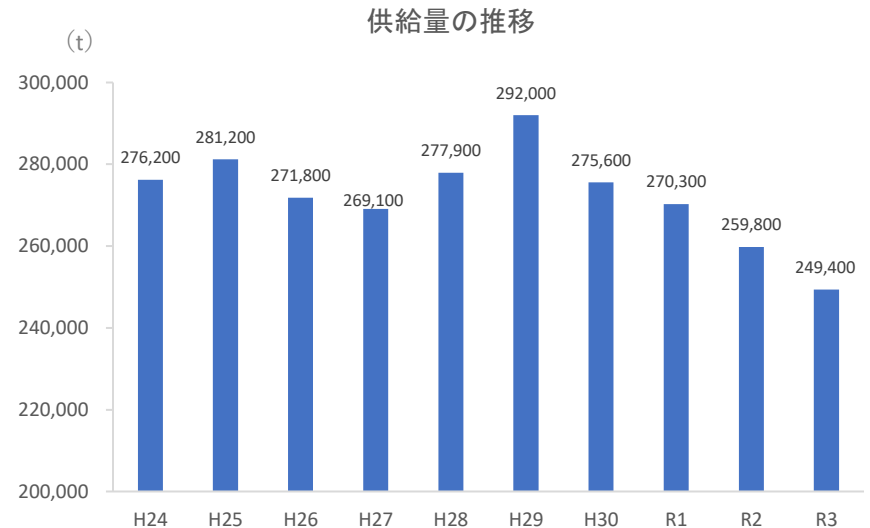
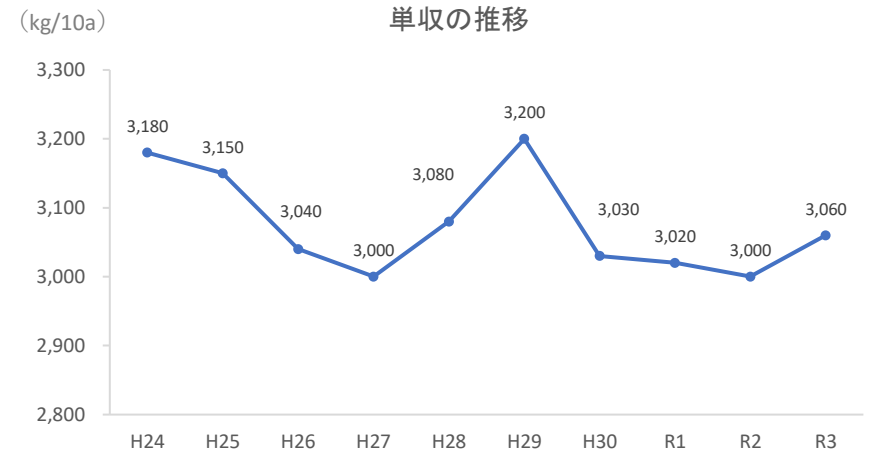
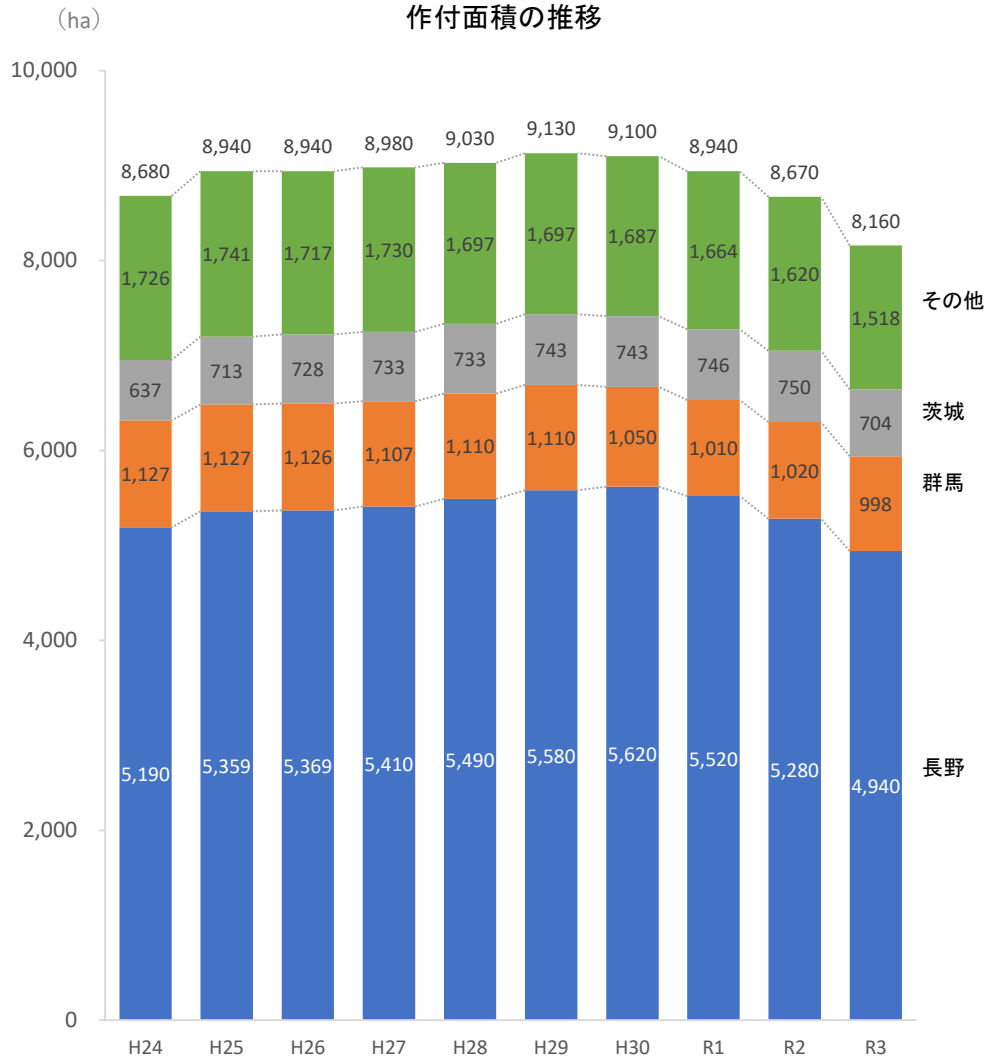
## 旬別の価格と出荷量の推移



※東京都中央卸売市場のうち4市場(築地、大田、豊島、淀橋)における出荷量・価格

# 夏秋レタス(6~10月)の動向 ①

- 作付面積・供給量は減少傾向。
- 令和2年は7月の長雨・日照不足、令和3年は8月の曇雨天等により出荷量が減少し、一時的に高値となったが、全般的には気温上昇とともに7月中下旬から出荷量増加・価格低落する傾向にあり、令和2~4年は緊急需給調整事業を発動。

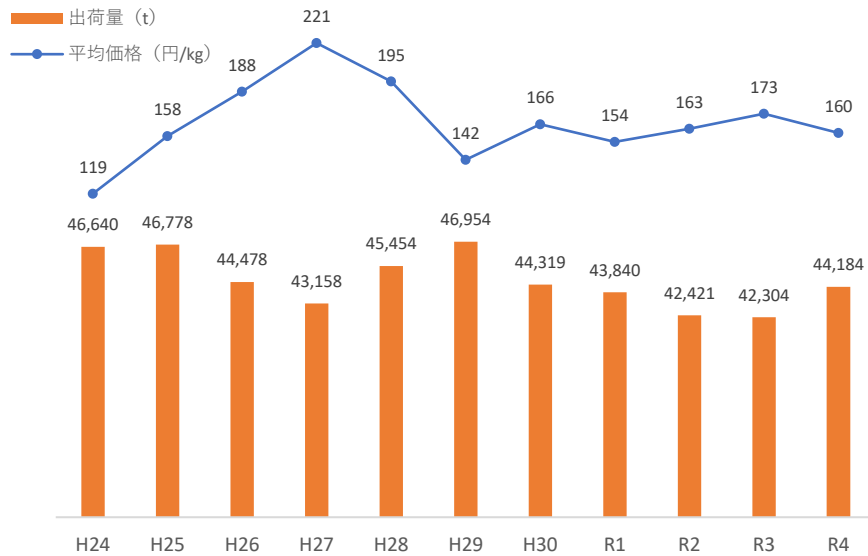


出典:野菜生産出荷統計等



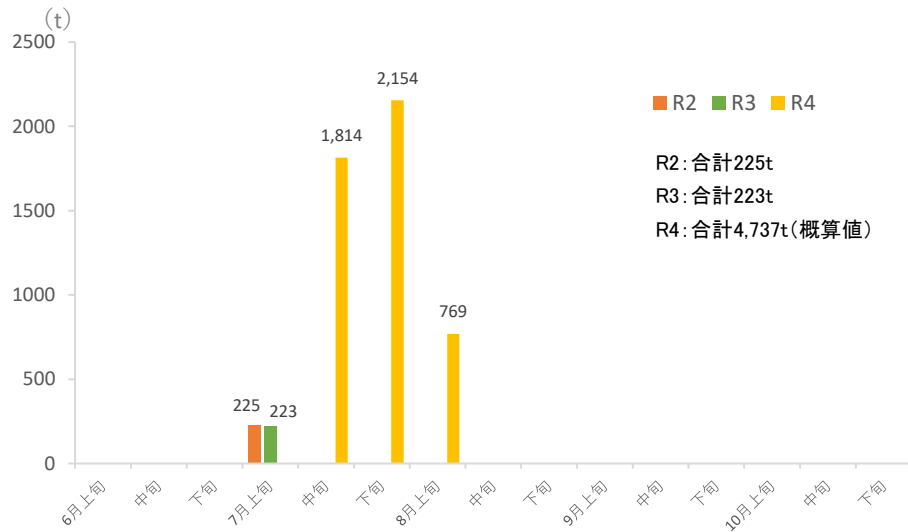
# 夏秋レタス(6~10月)の動向 ②

## 価格と出荷量の推移

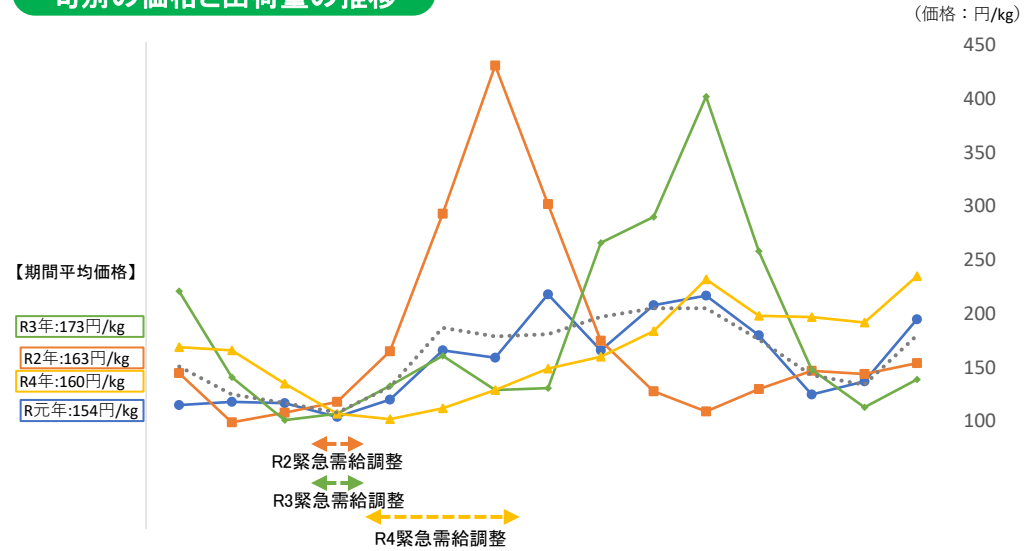


※東京都中央卸売市場(9市場)における出荷量・価格

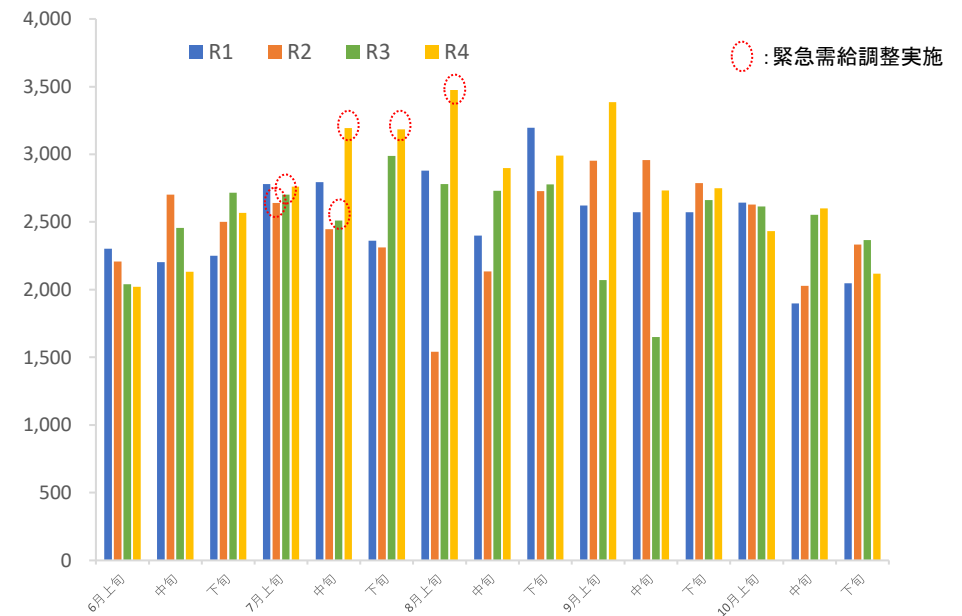
## 緊急需給調整事業の実施状況



## 旬別の価格と出荷量の推移



(出荷量: t)



※東京都中央卸売市場のうち4市場(築地、大田、豊島、淀橋)における出荷量・価格